

令和2年度 第3学年 国語科 年間指導計画 予定年間授業時数：106時間

使用教科書：光村図書「国語3」

使用副教材：東京法令出版「3年間の整理と復習 国語」、光村教育図書「国語のワーク」、教育同人社「単元別漢字学習」  
浜島書店「東京都版国語便覧」

教科の学習目標：

- ①目的や場面に応じ、社会生活に関わること等について相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身につけさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。
- ②目的や意図に応じ、社会生活に関わること等について論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせると共に、文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。
- ③目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせると共に、読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。

<学習内容>

学期	学習単元	学習内容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説「握手」</li> <li>・説明「月の起源を探る」「言葉を選ぼう」</li> <li>・論説「『批評』の言葉をためる」</li> <li>・漢文「学びて時にこれを習ふ」</li> <li>・詩「春に」</li> <li>・俳句「俳句の可能性」「俳句を味わう」</li> <li>・話す、聞く「社会との関わりを伝えよう」</li> <li>・文法への扉1「すいかは幾つ必要？」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の豊かさを味わい、生き方を考える。</li> <li>・論理の展開や表現の仕方について評価し、自分の考えをもつ。</li> <li>・ものの見方や、自己認識を深める。</li> <li>・種々の文章を読み、自分の今までとこれからについて考える。</li> <li>・作者の思いを捉え、表現の特徴を生かして朗読する。</li> <li>・伝統的な言語文化俳句に触れ、ものの見方や感じ方を豊かにする。</li> <li>・体験や知識を整理し、相手や目的を意識して話す。</li> <li>・言葉の意味の深さを知り、表現力の豊かさを理解する。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書く「魅力的な紙面を作ろう」</li> <li>・漢字1「熟語の読み方」</li> <li>・言葉1「和語・漢語・外来語」</li> <li>・小説「故郷」</li> <li>・論説「新聞の社説を比較して読もう」「作られた「物語」を超えて」</li> <li>・古文「古今和歌集 仮名序」「君待つと」「夏草」「古典の心の中に」</li> <li>・詩「挨拶」「初恋」</li> <li>・話す、聞く「話し合って提案をまとめよう」</li> <li>・文法への扉2「「ない」の違いがわからない？」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章や写真などの素材を組み合わせ、魅力的な紙面構成を工夫する。</li> <li>・多種多様な熟語の読みを理解する。</li> <li>・それぞれの語彙や性質を知り、それを生かす力を養う。</li> <li>・語句や表現の効果に注意し、人間と社会との関わりについて自分の意見をもつ。</li> <li>・論説を比較し、評価する。</li> <li>・伝統的な言語文化としての和歌・俳諧の世界を味わう。</li> <li>・人間と社会との関わりについて、自分の意見をもつ。</li> <li>・手段・方法を工夫し、話し合って課題を解決する。</li> <li>・文法学習の確認とまとめ。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書く「説明力のある文章を書こう」</li> <li>・漢字2「漢字の造語力」</li> <li>・言葉2「慣用句・ことわざ・故事成語」</li> <li>・論説「誰かの代わりに」</li> <li>・詩「わたしを束ねないで」</li> <li>・話す、聞く、書く「三年間の歩みを振り返ろう」</li> <li>・漢字3「漢字のまとめ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・批評文を読み、批評に必要な観点や要素を知る。</li> <li>・日本人が漢字の造語力を駆使し新しい言葉を受容したことを知る。</li> <li>・語義や誤用を知り、実際に日常生活の中で使用できるよう工夫を考える。</li> <li>・論説を通して自分という存在についての考え方を深める。</li> <li>・作者の思いや感じ方を捉え、自分らしく生き方を考えるきっかけをつかむ。</li> <li>・3年間の学習を振り返り、冊子にまとめよう。</li> <li>・中学校での漢字学習の総まとめ。</li> </ul>

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと評価します。

観点（全体に対する割合）	観点の趣旨	評価資料
観点1（20%） 国語への関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、話したり聞いたり書いたりして考えを深め、読書を通して自己を向上させようとする。	授業態度 提出物 ノート 漢字テスト
観点2（20%） 話す・聞く能力	目的や場面に応じ、相手の様子に合わせて話したり、表現の工夫を評価して聞いたり、課題解決に向けて話し合ったりしている。	スピーチ 聞き取りテスト 話し合い活動
観点3（20%） 書く能力	目的や意図に応じ、文章の形態を選択し、論理の展開を工夫して説得力のある文章を書いている。	定期テスト スピーチ原稿 作文 感想文
観点4（20%） 読む能力	目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読み、人間、社会、自然などについて自分の意見を持っている。	定期テスト
観点5（20%） 言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、身の回りの文字に関心をもち、効果的に文字を書いている。	定期テスト 漢字小テスト